



天文学の扉を開こう

8月の夜空

土星の衛星タイタンにトンボが飛ぶ日

最近では、テレビや映画でドローンを使った空撮を見ない日はないと言ってもいいくらいですが、これだけ身近になったドローン技術は、とうとう地球を飛び出して宇宙で活躍することになりそうです。

NASA(アメリカ航空宇宙局)は、6月28日、土星の衛星「タイタン」にドローン型の無人探査機(右想像図)を送り込む「ドラゴンフライ(英語でトンボの意味)」計画を発表しました。

土星最大の衛星タイタンは、太陽系でも木星の衛星ガニメデに次いで2番目に大きな衛星で、惑星である水星よりも大きな天体です。そして、その最大の特徴は、太陽系の衛星としては唯一、地表の気圧が約1.5気圧にもなる厚い大気が存在することです。大気がほとんどない月や、地球のおよそ100分の1しかない火星ではドローンを飛ばすことができませんが、この厚い大気のおかげでドローンを飛ばしてタイタンの様々な場所を効率的に調べることができるわけです。

ドラゴンフライは2026年に打ち上げられ、2034年にタイタンに到着する予定です。タイタンでは2年8カ月ほど活動し、有機物の砂丘から衝突クレーターの底まで、数十カ所ほどの幅広い環境を探索します。ドラゴンフライの着陸機は8枚のローター(回転翼)を持ち、全長およそ3メートルとのこと。ですから、ドローンというよりは、小型の無人ヘリコプターといったところでしょうか。

タイタンは生命が誕生する前の原始地球に似た環境があるとも言われており、これまでの観測で、液体化したメタンやエタンなどの炭化水素でできた湖や海が存在し、液化メタンの雨が降り、氷の表面に炭化物が付着してできた砂による砂漠などがあることが知られています。

また、地中には水や有機物が存在することが明らかになっており、原始生命体が誕生している可能性も指摘されています。



8月のぐんま天文台のイベント

- ・13日(火) ペルセウス座流星群観察会
- ・24日(土) 星空さんぽ

○星図の説明

8月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも
同じ星空になります(「月」を除く)。



リトルミュージアム

「七夕の短冊をつくりました！」

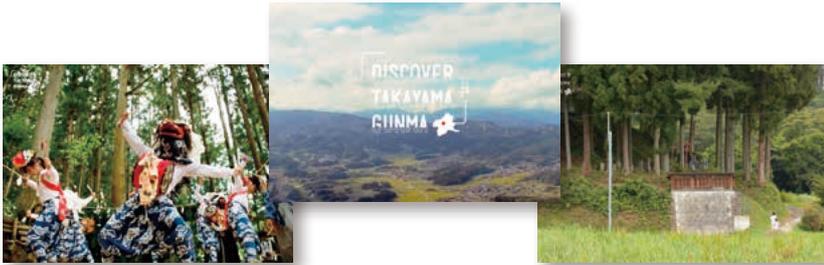


ひらかた えいと くん
「大きくなったら、「消防士」になりたいです！」



いしい まなや くん
「大きくなったら、「ゴジータ」になりたいです！」

高山村のPR動画



「DISCOVER TAKAYAMA」特設サイト

<https://discover-takayama-gunma.jp/>



※わが家のアイドル(6カ月~4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(※^_^) ☎26-7944(直通)



五 領 唐澤 陽希くん(2歳)

僕の名前は「はるき」です。春のようにあたたかい心を持って成長してほしい、兄と同様に何か1つでも希望を持ってほしいと名付けてもらいました。

好きな遊びは「待て待て追いかっこ」と「いないいないばあ」です。食べることも大好きなんだ！

★食べることが大好きで、好物はいつも食べすぎてしまうくらいバクバク食べます。「待て待て〜」と追いかけられる「待て待て追いかっこ」が好きで、途中で追いかけるのをやめても、しばらく気付かず楽しそうに逃げ回っています。

こちら「10代目緑のふるさと協力隊」

お世話になっております。第26期緑のふるさと協力隊の藤井響市です。

ここ最近、天気が悪いので気分が沈みやすくなりましてね。梅雨が明ければ暑い日差しが待ち構えています。この季節からが農作業が忙しくなるということなので、心と体を上手くコントロールしたいです。

先日、大家さんと家の近くに流れる川へホタルを見に行きました。同じ川でもホタルがいる場所とない場所がはつきりしていました。これにより川が綺麗かどうかが見えてい

て面白かったです。また、いろんな方から枝豆などの食材をいただくことが多くなりました。いただいた物は感謝の気持ちを込めて料理するようにしています。

さて、もうすぐ村の一大イベントである「ふるさと祭り」が開催されますね。私もお手伝いをしながら、思い切り楽しみたいです。

引き続き、協力隊の依頼受け付けとブログ更新を行っています。協力隊を依頼する場合は地域振興課にご連絡ください。また、ブログの閲覧もぜひお願いします。



緑のふるさと協力隊ブログ <http://taka-midori10.jugem.jp/>